

■ 北海道情報大学学内報

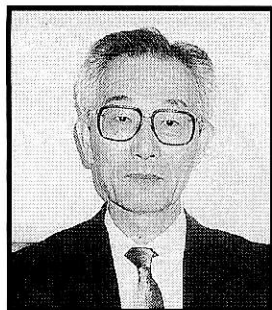


(ナナカマドの実) 於 校舎前

● 目 次 ●

真野先生を偲んで 木下学長……………	2～3	CLUB自慢……………	7
大学院研究科長への就任にあたって 久野光朗教授……………	4	Library Information……………	8
通信教育の現況 大野公男教授……………	5	松尾記念館完成予定見取図……………	9
ゼミナールちょっと拝見……………	6	主要行事・編集後記……………	10

発行・北海道情報大学  
〒069 江別市西野幌59-2 TEL011-385-4411 FAX011-384-0134



故 眞野 脩 教授 遺影

## 故 眞野 脩 先生 を悼む

学 長 木 下 重 教

平成9年5月の末のことだった。大学の廊下で、久しぶりに講義に向かう先生にお会いした。先生は笑いながら話しかけてきた。

「明日、検査のため入院してきます」「何処が悪いのですか」「食べ物飲み込むとき少し胸につかえるのです。たいしたことないと思います」「おだいじに」。こんな会話を交わしながら別れたが、それから間もなく今田局長から先生は食道癌と診断されて札幌白石の恵祐会病院に入院されたことを知らされた。

食道癌を告知されて先生は手術するかどうか迷ったようであるが、遂に手術を決断され手術日は六月九日と決まった。手術が実施される数日前、私は三枝学部長、今田局長と一緒に病院にお見舞いに行った。先生はニコニコされてロビーまで出てこられた。三十分くらい病気の状態や手術決断した経緯などについてお話を伺ったが、とても元気な様子であったので私どもはすっかり安心して手術の成功を祈りながら病院を後にしたのであった。

手術の翌日、無事終了したとの吉報が届いた。ただひとつ気がかりなことは腫瘍を完全に切除する事が出来ず一部残さざるを得なかったことであって、その部分の増殖を抑制するために抗癌治療が必要になるかもしれないと聞かされたことである。その後私自身体調を崩し、しばらくお見舞いにいけなかったが、

約二か月経った八月のはじめ今田局長から眞野先生はあと4・5日で退院できることになったと聞いた時は本当に嬉しかった。

先生の退院前に病院を訪ね、ねぎらいと快気祝いを述べようと思っていただけようその日八月十四日早朝今田局長から「眞野先生危篤」という報せを受け取った。全く信じられなかった。直ちに病院に駆けつけた。先生は既に意識はなく人工呼吸器を付け病室に横たわっていた。奥様から伺ったところによると、今朝早く看護婦さんが病室をたずねたとき先生が意識を失っているのに気づき大騒ぎになったという。

退院許可が出ていた矢先の急変、誰も予知できないまさかの出来事であり奥様の驚きは言語に絶するものがあったと思われる。何故こうなったかは分からないが、奥様は「人は病では死なない、運命によって死ぬのだと三浦祐昌先生が言っていました、そう思うしかしようがありません。」と言っておられたのが深く心に残っている。二人のお嬢さんが駆けつけるまでにできれば意識を取り戻してほしいとの思いで必至の救命を続けた家族、病院の努力も空しく眞野先生は遂に意識をとりもどすことなく、八月十四日午後三時三十分命終された。享年六十五歳であった。

私が眞野先生と知り合った最初は十数年前

の北大学長選挙のときであった。工学部有志の主催で有江学長を推薦する会が当時の石狩会館(今のKKR)に於いて開催された。各部署から多数の先生が出席されたがその中に経済学部の眞野教授がおられた。先生は自由発言で有江先生の推薦の辞を述べてくれましたが懇親会に移ったとき私の側にくて「木下さん僕は有江さんのファンだよ。しっかりがんばんなさいよ」と初対面とは思えない親しい態度で話し掛けてくれた。これ以来私は眞野先生のファンになったのである。その後、北海道の石炭対策委員会や産炭地振興対策委員会などで同席する機会が多くなった。またしばしば酒の席を共にしたこともある。なお特に先生と密接な関係を持つようになったのは北海道情報大学設立準備のときからである。経営学のカリキュラム、教員候補者の選定などで先生にはいろいろアドバイスを受け大変お世話になった。先生は本学設立の功労者のひとりであったのである。

眞野先生は昭和29年3月神戸大学経営学部を卒業、続いて昭和31年3月大学院経営学研究科修士課程を終了、さらに昭和34年10月同大学経営学研究科博士課程を単位取得退学し、昭和40年3月には経営学博士の学位を取得されている。

神戸大学大学院卒業後、大阪経済大学に就職し、同大学に於いて、助手、講師、助教授を歴任して昭和38年7月創立まもない北海道大学経済学部の教授に迎えられ、平成7年3月北海道大学を定年退職されるまで32年間、同大学教授として経営学の発展と北海道の社会・経済界の発展に多大の貢献をされたことは周知のところである。これらの功績が認められて平成5年11月には労働行政推進の功に

より労働大臣賞を、また平成8年6月には為替貯金制度の普及と事業の発展に寄与した功に対して郵政大臣より感謝状を贈られている。

眞野先生の北大退職時期が近づいた頃、私は先生に本学経営情報学部教授に就任していただきたくそれとなく打診を続けた。しかし先生は東北や北海道の複数の大学からお呼びがあつてなかなか良い返事をもらえなかった。しかし最後に「木下さんの大学に行くことに決めたよ」と言われた時は嬉しく感謝した。先生が加わったことで本学も充実し大学院設置を申請するきっかけになったのである。われわれは大学院設置と同時に先生には研究科長をお願いすると共に、本学の発展に対する先生の活躍に非常に大きな期待を寄せていた。それだけにこの度の先生の急逝は本学として誠に痛恨の極みであり悔やみても悔やみても余りあるものがある。

本学に就任してから僅かに二年有余、「修士課程に続いて経営学の博士課程を造ろうや!」と手を握り合ったのは昨日のこつのように思われる。奥様から伺ったところによると先生は、経営哲学に造詣が深く日本における数少ない当該分野の学者の一人であるという。ポーカーフェイスで語る先生の経営哲学を一度聞いてみたかつたと思うもの今となつてはそれも不可能である。先生は昨年再婚されておそらく楽しい老後の夢を持っていたに違いない。その夢を奪つた運命のいたづらを呪わざるをえない。すべてを残して忽然と旅立たれた眞野先生に対して今はただご冥福を祈るのみである。(1997/09/30)



## 大学院研究科長への 就任にあたって

大学院研究科長 久野光朗

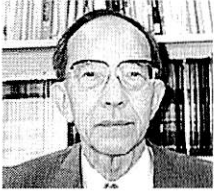
本学の大学院研究科長をされていた眞野脩教授は8月14日に食道癌で逝去された。心から哀悼の意を表したい。年齢が同じであり、研究領域も比較的近く、一昨年同時に本学へ赴任してきた同僚の一人であっただけに、彼の訃報に接した時の小生の精神的打撃は非常に大きなものであった。「つゝにゆく道とはかねてきよしかどきのふ今日とは思はざりしを」(在原業平)という三十一文字の意味をいやというほど実感させられた。めったに偏頭痛などで苦しむことのなかった小生であるが、彼の死後、1カ月ほどストレスからと思われる偏頭痛に悩まされてしまった。

偏頭痛が完治しないうちに、木下学長から大学院研究科長に就任するよう要請を受けた。これは新たな頭痛の種であった。小生は、すでに前任校での定年前に学生部長・附属図書館長として通算8年有余の管理職を経験している。管理職として大学行政に参画することは、事務の方たちとも親しく接する機会に恵まれ、ともに業務達成の喜びにひたることができるのであるが、研究と教育の双方に多大な負担をしいられ、とくに研究業績の低下を余儀なくされてしまう。現在、先の「アメリカ簿記史」の業績に続く「アメリカ財務会計生成史」というライフワークに夢をたくし、いささか微力を傾注している身にとっては大きな痛手である。研究と教育、そして国・道・市などの若干の審議会メンバーとしての学外における社会活動に加えて、大学行政への参画という仕事を円滑に果たすことができるのであろうか、いささか心もとないというのが小生の現在の正直な心境である。

世阿弥の『風姿花伝』における「初心忘るべからず」という言葉は、つとに人口に膾炙されているところであるが、最近、同じ世阿弥の著書『花鏡』のなかには3種類の初心があることを知った。若い頃の初心のほかに、その時々の初心とともに老後の初心があるというのである。老後の初心と

いうのは、体力が衰えてきても、年齢に応じた新しい工夫をすることによって、常に創造的であり続けることができるという意味のようである。もとより浅学非才の身であることは十分に承知しているけれども、活力(vitality)・専門性(speciality)・独創性(originality)・生産性(productivity)——V S O Pをキー・ワードとして、本学大学院の発展に尽力しなければならないと考えている。さらに、修士課程のみでなく、その上に博士課程の創設を目指して努力しなければならない。かかる精進を通じて、はじめて今は亡き眞野教授の霊を慰めることができるであろう。

本学は来年で創立10周年を迎える。創設者である松尾理事長や木下学長をはじめとする関係者各位の努力に改めて敬意を表すると同時に、創立時の理念の実現に向けて、国際化と情報化の時代に即応した人材の養成に励む所存である。「地球規模で思考し、地域社会に根ざして行動する」(thinking globally and acting locally)人材を養成したい。本学の大学院では、その教育目標として、研究者の育成とともに高度な専門的職業人の育成ということをやっている。とくに新しい産業社会型の専門的職業人の要件としては、高度の学術的能力のみでなく、独立不羈の精神と倫理的行動力が必要不可欠である。かかる意識にもとづいて、今後、小生なりに微力を尽くすつもりである。教官各位、事務職員の皆さん、学生諸君の御支援をいただければ幸いである。



## 通 信 教 育 の 現 況

通信教育部長 おの 大 の 野 きみ 公 お 男

北海道情報大学で通信教育が開始されたのは、平成6年4月のことである。その創設から、5年後に当たる。しかし、平成3年度から、大学に隣接する北海道情報技術研究所をキーステーションとして電波を発信し、全国9カ所にある電子開発学園傘下の電子計算機専門学校9校との間で、衛星放送を使った教育が実施されてきた。こうした背景があり、H I Uの通信教育は、当初から、伝統的な印刷授業、面接授業(スクーリング)に加えて、衛星を利用した放送授業が重要な役割を果たしてきている。

通信教育部は、通学と同じく、経営学科と情報学科の2学科からなり、定員は経営学科400名、情報学科800名である。これら通信教育部に所属する学生は、正科生Aと正科生Bに分かれる。正科生Bは、大学の学生と専門学校の生徒との資格を同時に持ついわゆるダブルスクールの学生であり、4年間で両方の学校を卒業することが可能である。一方正科生Aは、いわば在来型の大学通信教育学生で、職業を持っている人が大部分を占める。

正科生Bは、H I Uの教育センターとしての専門学校に通う専攻学生で、現在午前中は専門学校の、午後になると大学の放送授業を受けている、大変なハードワークといえよう。放送授業は各教育センターの持つ受信設備を使って受講する。

一方、正科生Aは、放送授業を録画したビデオを借り出して視聴する以外にその恩恵にあずかれない。試験とスクーリングは最寄りの教育センターで受けることができる。

平成9年5月8日現在の在籍通信教育部学生の各学科、入学年度、正科生の種類別の数は次の通りである：

入学	経 営 学 科		情 報 学 科		計
	A	B	A	B	
6	14	1	39	699	753
7	18	332	29	721	1,100
8	8	377	27	843	1,255
9	4	192	22	855	1,073

この表に見られるように、正科生Aの総数は161名で、全員4,181名の4%にしか当たらない。つまり、ダブルスクールの学生、正科生Bが96%に達し、これがH I U通信教育部の大きな特色になっている。なお平成6年度入学の経営学科学生が僅か15名と極端に少ないが、これは学生募集の主体となっている教育センターが電子計算機専門学校で知られていたこと、初年度でP Rの期間が短かったことによるものと考えられる。

通信教育部では、学生の事情によって、正科生BがAに、AがBに、変わることも、また正科生Bが所属センターを変更することも原則として認めることにしている。また定員の範囲内で、通信教育部から通学へ、またその逆も、一定の選考を経て認められる。現に今年の4月には、4名の学生が通信教育部から、通学へ編入されている。

なお、教育センターの数は、平成6年度は、9校であったが、その後逐次増加して、平成9年度には17センターとなり、さらに明年度1センターが加わることが決まっている。

来年3月には、通信教育部が最初の卒業生を社会に送り出す。通信教育部では、卒業論文が必修科目(8単位)になっているが、卒業論文に取りかかるためには、100単位を修得していなければならぬという内規が教員会議で決まっている。そのラインを超えて、現在卒論の仕事に取りかかっている学生数は、702名である。現況で記したように、平成6年度入学の学生数は、753名だから、その93%が現在希望した教員の指導の下に、自分が選択したテーマで卒論作成に勤しんでいることになる。勿論彼らが全員卒業できるとは限らないのだが、これは通信教育としては極めて高い卒業率になりそうだと思うデータではないだろうか。こういう望ましい事態になっているのは、勿論学生諸君の一人一人の努力が基礎になっている。しかし、彼らの勉強と共に、教育センターの先生方の懇切・熱心な指導・助言が一つ、もう一つには放送授業が効果を上げているのではないかと私は思っている。

大学も生存競争の時代に入った。北海道情報大学が、通学、通信、相携えて発展していくことを期待して止まない。



広奥ゼミナール

4年 鈴木 敬稔

私たち広奥ゼミでは、コンピュータを用いた音声波形分析について研究しています。

具体的には、いろいろある波形分析法の中からある一つの分析法に注目し、その分析法を用いて、UNIXのX-Window上やホームページ上で動作する波形分析ソフトをC/C++・Javaといった言語を使用して開発していたり、数値計算をしてその結果をグラフ表示するソフトを使用して、音声波形を分析し、その結果をグラフ表示したりするといったことをやっています。

ゼミは基本的には週1回のゼミ時間ですが、他の空いている時間にターミナル室や実習室、卒研室で自主的に研究をしています。特に卒研室では、夜の10時まで残れるので、毎日夜10時ぎりぎりまで残って研究？をしている人が数名います(その割にはあまり進んでいませんが)。毎日夜まで何をしているの?と思った人は、卒研室をのぞいてみるとわかるかも…。

あと、今年の4月から大学のサーバ上で広奥ゼミのホームページを作成し公開していましたが、9月からは広奥ゼミ専用サーバに移動し、公開し

ています(<http://turtle.do-johodai.ac.jp/splab/Welcome.html>)。まだ中身がほとんどない状態にもかかわらず多くの人が見に来てくれています。そろそろホームページを作り替えないと…。



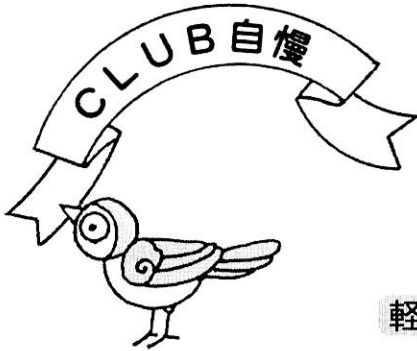
齋藤ゼミナール

4年 千田 貴裕

僕たちのゼミは、3・4年生合わせて30人で、情報大では、最もヘビーウエイトのゼミではないかと思います。現在、3年生12人、4年生18人で、全員男子ですが、先生曰く、「来年は減量の年」です。道内出身が多いですが、道外は、東北から、北陸、関東、信越、東海、そして関西方面まで、出身地同様に、ゼミ生はバラエティーと個性に富み、それだけに、ゼミ単位で行動する場合には、ゼミ幹事の骨は折れっぱなしです。ゼミのテーマは、「産業と企業の行動研究」という一見何でもできそうなテーマですが、今年の前期は、3・4年生とも、先生主導の「企業の進化論的研究」一色でした。しかも、英文の資料が毎回配布され、僕たちは、それを理解するのに、これも、骨が折れっぱなしでした。(後期は、ようやく僕たちの出番が回ってきて、夏休みの課題をレポートしています。)最後になりましたが、ゼミの先輩に、町のゲームコーナーでお目にかかるゲームソフトの制作担当者がいて、一昨年は、その先輩がゼミに顔を出してくれたとか、僕たちは、今年の訪問を楽しみにしています。



(齋藤ゼミ風景)



### 軽音楽部



部長 3年 井尾 諭

こんにちわ 軽音楽部です。

軽音楽部を紹介しろということなので、日頃、何をたくらんで活動しているのか、みんなに、こっそり教えたいと思います。

現在、部員総数30人ぐらい、その全員が、音楽を愛しています。そして、その愛を吸収し、消化して、自分の心をミックスして、みんなに、おすそわけしたいと、つね日頃考えています。部員たちは、個性豊かな人たちばかりなので、愛の表現の仕方は、いろいろな形が、みうけられます。オリジナル曲で、みんなの心をうかがったり、カバー曲で、みんなを楽しませたりと、テクニックよりも、ハートをメインになごやかなサークルなのです。

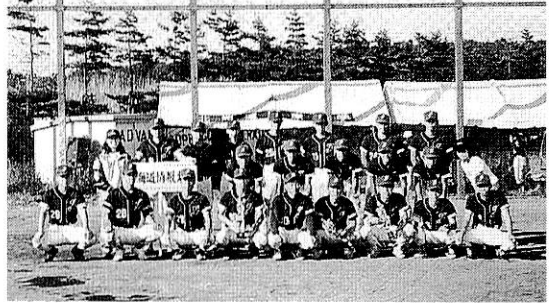
活動といえば、愛の修業場である、あやしい家(厚生棟別館)で、部員たちは、愛のオーラをかめています。そして、年に数回のライブで、一気に爆発させて、みんなでもりあがります。昨年は、CDを制作と、わりと意欲的な面もあります。(今年は未定)

そんな軽音楽部ですが、悩みがあります。それは、修業場の機材が、まだまだ、不十分な点、ライブでの観客の数が非常に少なく、ほとんど部員が、観客のかわりという、さみしい状態なのです。

これを読んだみなさん、ぜひ軽音楽部のライブをみにきてください。



### 硬式野球部



(昨年の3部優勝時のメンバーです)

主務(マネージャー) 4年 長谷川 友紀

選手は10人もいた4年生が抜けたので12名、マネージャーも2名と人数が少ないのが、最大の悩みです。高校野球部経験者はかなりいるのですが、ケガ、家が遠い、アルバイトをする必要があるなどの理由で入部してもらえないのです。未経験者の入部を心よりまっています。

硬式野球は、日本の体育団体のなかでも大組織で、北海道にも2つのリーグがあります。私達は札幌学生野球連盟に加盟し、成績は14大学中10位前後で、3部リーグに甘んじています。96年秋期リーグで優勝したものの入替戦で敗れました。学生数の圧倒的な差、実力者の推薦入学制度など、特別助成している他大学の強豪チームに勝つのは、かなり難しいのです。おまけに練習グラウンドがない、5時間目まで授業があるなどで毎日練習したくてもできずに歯がゆい思いをしています。なんとかならないでしょうか。

それでも私達のチームのお宝は、少ない人数ながら野球が大好きで、思いやりがあり、しかも情熱あふれる“すばらしい”部員やマネージャーです。また顧問の先生、OBとの交流もさかんで、カンパやコンパ、応援と多くの支援を受けているのは心強い限りです。

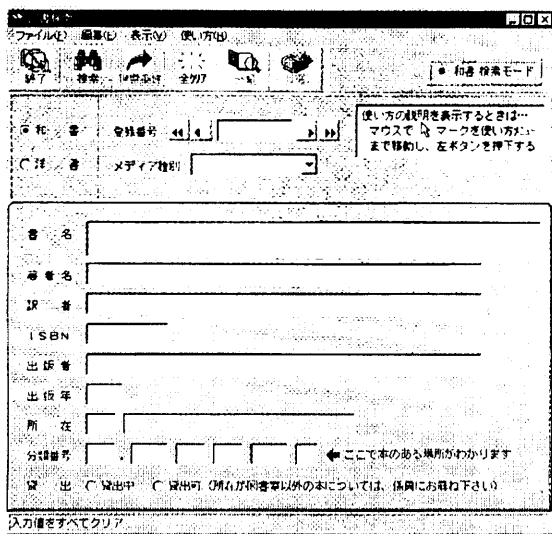
多くの課題をかかえながらも、私達は部長・監督の浜淵先生と共に、大学野球の頂点である神宮大会を目指して活動しています。応援をまっています。



# 🍪🍪🍪🍪🍪 Library Information 🍪🍪🍪🍪🍪

## 図書館の検索をしてみよう ～図書室蔵書編

芸術の秋、スポーツの秋、そして、読書の秋。今回は、『卒論準備の秋』の皆さんにも、『レポート提出の秋(?)』の皆さんにも、是非参考にさせていただきたい本学図書室に所蔵する図書を検索の仕方を紹介致します。



- ① 書名、著者名等で、わかっている範囲の情報を入力し、《検索キー》をクリックします。ここでのポイントは、あまり多くの字数を入力しないことです。  
例：『詳解 情報数学論 第2版』を検索  
書名“情報数学”のみ入力でもOK
- ② 検索結果が1件以上の場合、赤字で件数が表示されます。例：(1/48)  
《一覧キー》をクリックすると、すべて(この例の場合は48件)の結果を表示します。そのうち必要な本をダブルクリックすると、その本の詳細データが表示されます。
- ③ 本のある場所は、分類番号の順番になっていますので、目的の図書を探したい時は、係にお尋ね下さい。

実際に図書室で検索をしてみたいかがでしょうか？  
わからないことは、遠慮なくお問い合わせ下さい。



## LD (レーザーディスク) 所蔵一覧

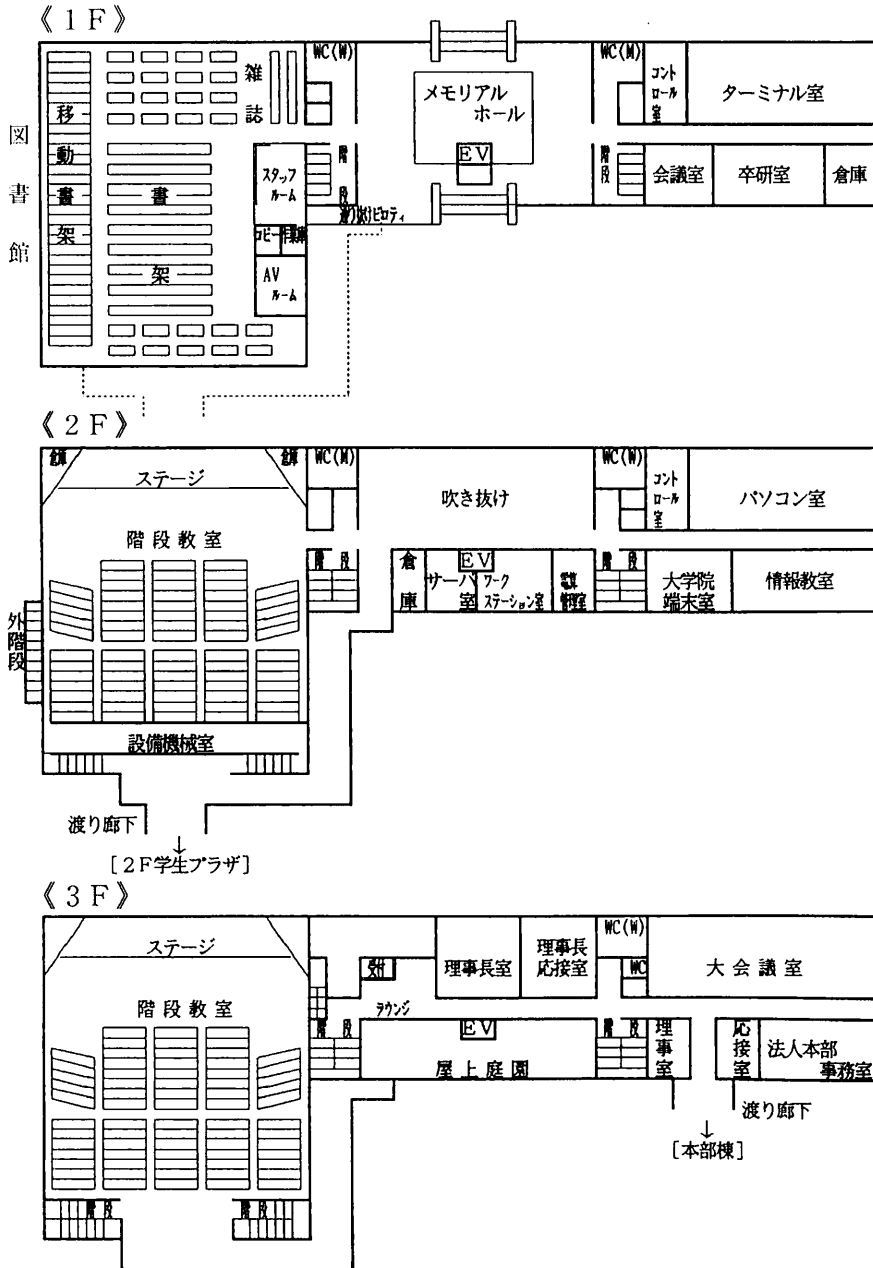
図書室内で、観ることのできるLDです。どうぞご利用下さい。

インディペンデンス・デイ	愛がこわれるとき	アウトブレイク
悪魔のような女	12モンキーズ	ベイブ
Shall We ダンス?	セブン	ザ・インターネット
河童	チェーン・リアクション	ザ・ロック
戦火の勇気	カットスロート・アイランド	スピード
沈黙の戦艦	天と地	羊たちの沈黙
フォレスト・ガンプ 一期一会	フランケンシュタイン	ラブレター
クール・ランニング	アポロ13	アマデウス
インタビュー・ウィズ・ヴァンパイア	ウエスト・サイド物語	ガンジー
9カ月	告発	ゴースト～ニューヨークの幻
ジュラシック・パーク	ショーシャンクの空に	シンドラーのリスト
ターミネーター2	ため息つかせて	逃亡者
ニクソン	8月のメモワール	ブレイブハート
暴走特急	マディソン郡の橋	リトル・ブット
レインマン	レオン	ロッキー3、4、5
ローマの休日	ベスト・キッド4	フィラデルフィア
僕の村は戦場だった	コロンブス	



# 松尾記念館完成予定見取図

平成10年7月20日の完成を目指し、いよいよ『松尾記念館』の工事が始まります。今回は、一足早く“完成予定見取図”をご紹介します！



◆◆ 教職員の動向 ◆◆

☆ 大 学 ☆

◇ 教員人事 ◇

8月15日付管理職  
大学院研究科長 久野 光朗

◆◆ 7月～9月主要行事 ◆◆

☆ 大 学 ☆

- 7月11日(金) 教授会
- 9月12日(月) 教授会
- ☆ 通信教育部 ☆
- 7月4日(金) 前期地方スクーリング
- ～6日(日) (札幌・千葉)
- 8日(火)
- ～10日(木) 前期地方スクーリング(札幌)
- 11日(金)
- ～13日(日) 前期地方スクーリング(全国)
- 14日(月)
- ～16日(木) 前期地方スクーリング(北九州)
- 18日(金) 前期地方スクーリング
- ～20日(日) (札幌・名古屋・福岡)
- 22日(火)
- ～25日(金) 前期放送授業科目試験
- 8月4日(月)
- ～9日(土) 夏期スクーリング(第1週)
- 8日(金)
- ～10日(日) 前期地方スクーリング(名古屋)
- 11日(月)
- ～16日(土) 夏期スクーリング(第2週)
- 18日(月)
- ～23日(土) 夏期スクーリング(第3週)
- 9月4日(木)
- ～7日(日) 前期印刷授業科目試験
- 13日(月) 前期印刷授業科目試験(追加)
- 26日(金) 後期地方スクーリング
- ～28日(日) (札幌・大阪)

◆◆ 広報活動 ◆◆

- 8月中 道内主要高校の訪問(札幌近郊)
- 8月22日(金) 道内主要都市にて進学相談会出席
- ～28日(木)

- 8月25日(月) 高校内ガイダンス(中川商業)
- 26日(火) " (千歳北陽)
- 9月1日(月) 道内、東北主要都市にて
- ～末日 進学相談会出席
- 4日(土) 高校内ガイダンス(旭川凌雲)
- 5日(金) " (札幌東陵)
- 9日(火) " (滝川西)
- 11日(木) " (北広島西)
- 16日(火) " (登別南)
- 24日(水) " (札幌篠路)
- 29日(月) " (札幌稲西)
- 30日(火) " (札幌稲雲)
- 9月16日(火)
- ～30日(火) UHB、STV、TVH各局にてCM放映

◆◆ 主な来校者 ◆◆

- 7月2日(水) 東奥義塾高校進路指導部教員
- 4日(金) 松前高校進路指導部教員
- 14日(月) 由利工業高校進路指導部教員
- 8月6日(水) 礼文高校進路指導部教員
- 7日(木) 高校教員(新潟、名古屋、大阪、福岡、大分)26名
- 8日(金) 枝幸高校進路指導部教員
- 21日(木) 高校教員(新潟、名古屋、広島、北九州、福岡、鹿児島)19名
- 21日(木) 新潟電子計算機専門学校 生徒等 110名
- 9月2日(火) 白樺学園高校進路指導部教員
- 26日(金) 高校教員(道内)30名
- 27日(土) 千歳北陽高校PTA 40名

計 報

本学教授眞野 脩氏は、平成九年八月十四日、食道癌のため、六十五歳にて逝去されました。氏は大阪経済大学助教授、北海道大学教授を経て、平成七年四月本学教授として就任され、労務管理論などを担当される傍ら大学院設置のために尽力され開設するに至りました。平成八年四月研究科長に就任され開設草創期における大学院の教育課程の充実並びに研究科の運営に多大な貢献をされました。

氏のご功績とご遺徳を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編 集 後 記

校舎前の「ナナカマド」が真っ赤な実をつけている。周囲の樹々も色づき始めたばかりとあって、特に際立った赤が映えている。バラ科に属するこの植物は、日本全土に分布している。「ナナカマド」の名前の由来は、七度かまどに入れても燃え残るくらい燃えにくいことから名付けられたそうである。赤のイメージは、情熱、炎などエネルギー的な印象が強い。厳しい冬を乗り切っていく北国には、特にふさわしい木であるという感を深くする。さて、この8月14日、眞野脩教授が突然逝去されました。大学院研究科長として、教育研究に情熱を傾けておられました。残念でなりません。先生のご冥福を、心よりお祈りするとともに、いつまでも本学を見守って戴きたいと思います。(S)

北海道情報大学学内報

「ななかまど」第6号

発行日 平成9年10月1日

発行 北海道情報大学

編集 学内報編集委員会